

1. 大会の全ての試合は、2010年度全日本軟式野球連盟（学童規則）と本大会特別規則による。
2. 登録選手は、1チーム20名以内とし、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名のベンチ入りを認める。「監督不在の場合は、試合開始前に申し出て承認を得ること」
3. 試合球は、全軟公認マルエスC球とする。
4. 投手は（同一人物）は、1日14イニングを超えてはいけない。
5. 捕手は、必ず公認のマスク、プロテクター・レガースを着用する。
6. 打者・走者・次打者・ランナーコーチは公認ヘルメットを使用する。
7. 登録選手は、正規のユニホームに背番号（0から27まで、主将は10）を表示し、監督（30）コーチ（28・29）も同一ユニホームを着用する。ユニホームの中にスパイクも含まれる。
8. 各チームは開始30分前に集合し各パート責任者にメンバー表を四部提出する。選手登録は初日提出したメンバー表を大会期間中の登録メンバーとする。
9. 試合前のベンチ使用は組み合わせ若番チームを一塁側とする。
10. 試合開始予定時刻を経過して、試合が行えないチームは、放棄試合とみなし、相手チームに勝利を与える。
11. 試合中のベンチ内で喫煙、飲食、飲酒等の行為を禁止する。また、ベンチ内の指導者等についても必ず帽子を着用する。
12. 本大会の試合回数及び延長
 - 試合は、7回戦とし、90分以降は新しいイニングには、入らない。
 - 初日及び二日目準決勝で規定の回数終了後勝敗がつかない場合は、エキストライニング2回（無死満塁、打者継続とする。）で勝敗を決し、さらに同点の場合は最終メンバー9人ずつにて抽選で決定する。
 - 決勝戦で規定の回数終了後勝敗がつかない場合は、前項の規定にかかわらず、勝敗が決するまでエキストライニングを行う。
13. 次の場合は、コールドゲーム等が成立し、試合は終了する。
 - 5回以降7点以上の得点差がついたとき
（ただし、決勝についてはこれを適用しない）
 - 5回終了後、降雨、日没等で審判団が続行不可能と判断したとき
14. 試合中における審判の判定に対する抗議、やじ等は絶対にしないこと。
ただし、ルールに関する抗議は、監督のみ認める。
15. 選手交代は、監督自ら球審に申し出ること。
16. ファウルボールの処理は、ボールに近いベンチチームで処理する。
17. ネクストバッターは、投手が投球姿勢に入った場合は、ネクストバッターサークル内で静止し、低い姿勢で待つこと。

18. 試合終了後は、両チームは次の試合に備えてベンチ内及びグラウンド整備を行うこと。
(なるべく、子どもたちにさせないように)
19. チーム責任者及び監督は、自チームの応援態度には責任をもつこと。
(太鼓、笛、紙ふうき、メガホン等は使用を禁止する。)
20. 試合終了後、会場をはなれるときは、必ず本部に連絡し、勝利チームは、次回の日程と会場を確認すること。

大会において不正を行ったチームに対する措置

1. 試合中に発見された場合は没収試合とし、相手方に勝利を与える。
2. 試合終了後に発見された場合は、次の試合の相手方に勝利を与える。
3. 個々の選手の不正行為は、チーム(監督)責任とする。

大会注意事項

1. 大会開催中は、指定駐車場以外への車の乗り入れは禁止する。
2. 大会参加チームは、必ず傷害保険の加入を義務づけるものとする。
3. 大会への参加は、他の大会への重複がないよう気をつけてほしい。
4. 試合中の負傷・事故に関しては、応急処置を行うが、以降の処理については、本大会としては、一切責任を負わない。
5. 本大会の緊急病院は大会本部にて指示します。